

質問書に対する回答

件名)常磐自動車道 可変式速度規制標識設備更新工事

No.	質問箇所	質問事項	質問回答
1	—	現地調査、地質調査により基礎位置、基礎形状が設計図面から変更になった場合数量変更の対象となりますでしょうか。	特記仕様書4-11に記載のとおりです。
2	—	基礎の据付時に地質調査でサウンディング試験等が必要になるかと思いますが、こちらは見込まれておりますでしょうか。	各種単価項目で見込んでおります。
3	—	既設基礎の撤去は数量表にありませんが、残置の考えでよろしいでしょうか。	特記仕様書第2章に記載のとおり、基礎の撤去は行わず、残置となります。
4	—	金抜設計書内の路肩規制について回数での表記となっておりますが、こちらに調査時の規制は含まれておりますでしょうか。	調査時の規制は含まれておりません。
5	—	金抜設計書内の路肩規制について回数での表記となっておりますが、数量が変更となった場合は変更対象となりますでしょうか。	監督員と協議のうえ、設計変更の対象となります。
6	—	路肩規制で重機の使用ができない場合は車線規制に変更できますでしょうか。 また、その場合は追加変更の対象となりますでしょうか。	監督員と協議のうえ、設計変更の対象となります。
7	—	路肩作業時、伐採が必要な樹木等があった場合には数量変更の対象となりますでしょうか。	監督員と協議のうえ、設計変更の対象となります。
8	—	特記仕様書1-21-2 標識車の借用ができなかった場合に、弊社で使用する際の車両には、2t平ボデーに電光掲示板搭載でよいか、特段の仕様があれば指示いただきたい。	監督員ならびに関係機関との協議によります。

質問書に対する回答

件名)常磐自動車道 可変式速度規制標識設備更新工事

No.	質問箇所	質問事項	質問回答
9	—	金抜数量表 路肩規制は全区間昼間の規制が可能と認識するが、特記仕様書では規制時間が夜間の設定となっております。金抜設計書、特記仕様書どちらが正しいでしょうか。	特記仕様書1-7に記載のとおりです。
10	—	金抜設計書の規制回数が、工期540日に比べ多くなっておりませんが、1日に規制を何か所できると想定での積算をされていますでしょうか。	弊社積算においては複数箇所の規制が可能と想定しております。見積においては、貴社の施工計画に基づき積算願います。
11	—	速度規制標識について付属ケーブルが含まれているかと思いますが、機器間(標識板～制御盤等)のケーブルのみでよろしいでしょうか。 制御盤～既設ハンドホール間のケーブルは含まれていない認識でよろしいでしょうか。 もし含まれている場合は何本何mが含まれているかご提示ください。	機器間(標識板～制御盤等)のケーブルは機器費に含まれます。 制御盤～既設ハンドホール間のケーブルについては機器費には含まず、特記仕様書1-26に記載のとおり設計変更の対象となります。
12	—	特記仕様書P41 4-6配線工に 「可変式道路情報板設備においては、情報板から第一ハンドホールまでの間は付属ケーブルを使用するものとし、詳細は設計図のとおりとする。なお、付属ケーブルならびにこれの接続にかかる施工費、材料費については機器費に含むものとし、別途支払いは行わないものとする。」と記載がありますが、図面ではケーブル数量及びハンドホールの位置が読み取れない箇所が御座います。各ハンドホール～機器の距離、ケーブル種類を明記頂けますでしょうか。	ケーブル数量およびハンドホールの位置は設計図および標準図によります。なお、B型情報板については、設計図に記載のとおり単独引込となりますので、関係法令に定める引込高さからB型情報板までのケーブル数量を計上願います。また、ケーブル種別については、納入される機器仕様に応じた、NEXCO共通仕様書で準用している公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)を満足するケーブルにて見積もり願います。
13	—	ケーブル、配管新設が金抜設計書及び特記仕様書に記載が御座いませんが、追加変更の対象となりますでしょうか。	可変式道路情報板設備のケーブル・配管については、特記仕様書4-6に記載の付属ケーブルならびに設計図、金抜設計書に記載のとおりとなります。 可変式速度規制標識設備のケーブル・配管については、No.11の質問回答のとおりとなります。

質問書に対する回答

件名)常磐自動車道 可変式速度規制標識設備更新工事

No.	質問箇所	質問事項	質問回答
14	—	特記仕様書1-6 オリンピック期間中の規制抑制区間で規制時間22時-6時と通行時間22時-5時に差があるが作業を予定する場合、通行時間に合わせて施工するということでしょうか。	そのとおりです。
15	—	図面内の基礎図について「参考」の明記が御座いませんが、基礎については図面通りにて対応との認識でよろしいでしょうか。	注記に記載のとおり、すべて参考となります。
16	—	可変式道路情報板設備の付属ケーブルについて、第一ハンドホール内で接続する際はレジン注入型の防水接続材を使用するとの考えでよいでしょうか。	NEXCO共通仕様書で準用している、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)第2章第1節2.1.1(5)を満足する仕様である必要があります。